



豊前総合法律事務所 News Letter

2025年
5月号
VOL.9

大切なご家族のため、また何より、ご自身の人生を充実させるため、お役に立てる情報をお届けいたします。終活・相続に詳しい豊前の弁護士といえば西村だ！と思い出していただけよう頑張ります！

目次

- P1 ◆プライベートのひとこま
- P2 ◆レビュー
- P3 ◆終活に関する名言・格言いろいろ ～7～
- P4 ◆こんなときどうする？
- P5 ◆エンディングノートおためしワーク
- P6 ◆お知らせ



プライベートのひとこま

家族で、いちご狩りに行ってきました！

食べ物の好みがそれぞれ違う我が家でも、共通して大好きな苺。それをお腹いっぱい食べられるという貴重な経験でした。

はじめ、子どもたちが目を付けていたのは大きな苺。しかし、明らかに熟していません。「全部が真っ赤になったら食べごろだよ。」と伝えると、嬉しそうにまた探し始めます。そうして持ってきた中には、ちょっと時期を過ぎたものが。赤は赤でも色味の違いや、触ったとき・へたを取ったときの感触を伝えるうちに、食べごろの苺を選ぶようになりました。

実際に見て、触って、嗅いで、味わうという経験は、本当に大切です。自分が子どもの頃は、両親や祖父母がいろいろなものを教えてくれたなあと思い出し、また感謝を深める1日になりました。

きょうも、ありがとうございます(*^^*)



レビュー【妻の終活】

令和元年に出版された、余命宣告をされた60代の妻と、その家族の物語です。著者は坂井希久子さん。

実は、冒頭からとても引き込まれてしまいました。なぜかという、最初のシーンが、夫が爪を切っているところなのです。それも、爪水虫で分厚くなっている爪。

本書は、このように細かい描写から、生活場面をありありと思い描かせてくれました。そして、ザ・昭和の漢！な夫が、妻の余命宣告を機に、妻や娘たちと、なにより自分と向き合っていく姿に心をゆさぶられる一冊でした。



夫から妻への気持ち

夫の人となりを描いている部分で「言葉にしたことは一度もないが、いついかなるときも帰る場所でいてくれた杏子には感謝している。」とあります。杏子とは、作中で出てくる妻の名前です。

新卒から勤め上げた会社を定年退職し、嘱託で働いている60代後半の夫。日々の仕事は、もちろん決して楽なものではなかったでしょう。その頑固な性格で主張する様々なことを、自分自身にも課してきたのではないかと思います。そんななか、妻はあたたかい居場所だったのですね。しかし「言葉にしたことは一度もない」とは、なかなか聞き捨てなりません…。

これからも生きていく

タイトルの通り、最後は残された家族が描かれます。あたたかい思い出も、そしてたくさんの後悔もありながら、生きていきます。そんな様子から、「では、私はどのように生きていこうか」と考えるきっかけをいただきました。

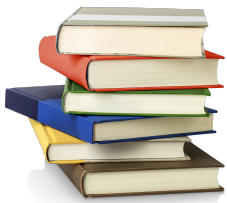
この本は、5月の終活お話会にも持参します。みなさまと感想を語り合えることを楽しみにしております。

終活に関する名言・格言いろいろ ～7～

北里柴三郎さん（1853 年～ 1931 年）

弊所では、賞与（ボーナス）支給の際に所長からスタッフに本をプレゼントしています。その一冊、「未来を変える 偉人の言葉」という本から、今回は北里柴三郎さんに着目します。

「近代日本医学の父」として知られ、破傷風やペストといった感染症の研究において大きな功績をのこしました。令和6年7月3日からは、紙幣にもなりましたね。



偉業をなそうと思うなら
その基礎をしっかり固めなさい

研究だけをやっていてはだめだ、
それをどうやって世の中で役立てるかが、大切だ。



熱と誠があれば、何事でも達成する。



日本人の「命を支える杖」でありたい。

とても力強い言葉ばかりですね。愛のある指導の言葉にも、北里さんご自身への戒めにも聞こえます。

北里さんがお生まれになった 1853 年といえば、ペリー提督が黒船で来航した、江戸時代末期です。そんな激動の時代に、命を救うという使命を抱いて進み続けるということは、想像もできないほど大変だったことでしょう。

みなさまは、どのような「熱と誠」で、今までの人生を生きてこられたでしょうか。これを機に、振り返っていただければ幸いです。

こんなときどうする？ ～終活を始めにくい～

周防三郎さん（73歳）は、妻の光子さん（68歳）と一緒に豊前市で2人暮らしをしています。県外には長男一家（孫が2人）、長女一家（孫が3人）いて、長期連休には家族が集まります。

あるとき、三郎さんはテレビ番組の終活特集をみて、「自分もそろそろ始めなくては！」と思い立ちました。今はまだまだ元気ですが、近所に住む友人は最近体調を崩しがちで、明日は我が身だと思っていたところでした。妻の光子さんも「早めに始めていたら安心ね。」と賛同してくれました。

ところが、ちょうどゴールデンウィークで帰省してきていた長男・長女一家に「終活を始めようと思う」と伝えてみたところ、長女から「お父さん、まだ元気でしょう。人生100年時代って言うし、まだ早いわよ。」と言われてしまいました。長男もうなずいています。

「終活」は誰のため？

終活をしたいと考えるのは、なぜでしょうか？きっかけは、周防三郎さんのように「明日は我が身」という焦りだったかもしれません。それでも大丈夫です。

終活に取り組むなかで、どうしてもご自身の想いと向き合うことが出てきます。たとえば、ご葬儀の規模や、来ていただきたい方々。墓じまいをするのか否か。いずれも、ご自身の意思・決断が重要になってきます。

誰を想って、何を決めるのか、これまでの人生を振り返りながら、じっくり考えてみてください。



どんな想いを伝えたいのかを、あえて言葉にする

「終活を始めたい」のほかに伝えるとしたら、具体的に「仕事が大変で毎晩遅くなった時期も家庭を支えてくれてありがとう」のように、想いを言葉にしてはいかがでしょうか。そのうえで、「想いを形にする手段として遺言書を書きたい」と伝えたと、聴き手の反応も変わってくるかもしれません。

エンディングノートの意義と活用術 ～ 9 ～

毎月開催している「終活お話し会」では、エンディングノートの1ページを一緒に書きましょう！というワークを行っています。

無料で、2つ穴ファイルをプレゼントしていますので、1ページずつ書き溜めていただくと、エンディングノート（ファイル）ができる、という仕組みにしております。

最近は書店でも様々なエンディングノートが並んでいますが、やはり一冊まるまる書き上げるのはなかなかの労力が要ります。

そこで、1ページずつ一緒に出会っていくことで、ひとつひとつの視点ごとに人生と向き合っていく機会になるのでは、という趣旨です。

よろしければ、ここで少し書き込んでみませんか？
テーマは、「片づけたい場所」です (*^^*)



〈今すぐにでも片づけたい場所〉

◆居間・台所・客間・押入れ・玄関・納屋・その他_____

◆理由：散らかっているから・人から見えるから・

その他_____

◆その場所は、あなた以外でも片付けられますか？_____

〈そのうち片づけたい場所〉

◆居間・台所・客間・押入れ・玄関・納屋・その他_____

◆理由：散らかっているから・人から見えるから・

その他_____

◆その場所は、あなた以外でも片付けられますか？_____

ありがとうございました！

普段は頭の中でなんとなく考えていることも、こうして言葉にしてみると、意外な発見があるかもしれませんね (*^^*)

お知らせ

終活お話会、毎月開催中です！

終活お話会ってなに？
セミナーとは違うの？という疑問に、
お答えします！



セミナー

- ・ 会場の定員いっぱい
- ・ 知識をお伝えする
- ・ ほとんど講師が話す
- ・ テーマは講師がみなさまに
しておいてほしいもの

まなびの場



お話会

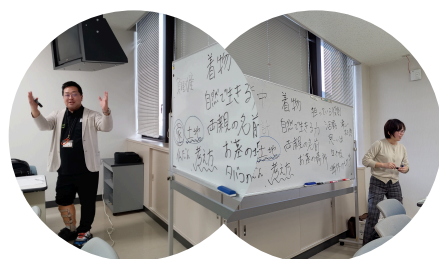
- ・ 最大 15 名程度
- ・ 互いに語り合う
- ・ 参加者様の声がメイン
- ・ 講師が話すテーマは
その場でリクエスト

分かち合いの場



次回の終活お話会は…

- 語り合うテーマ：弁護士には頼めないこと！？
- ミニセミナーテーマ：リクエストにお答えします！
- エンディングノートを書いてみるワーク
- ・ 5月13日（火）14：30～16：30
- ・ 豊前市総合福祉センター 研修室
- ・ ご参加無料 / ご予約不要



お問い合わせ：080-3948-9102（西村愛）

発行元 豊前総合法律事務所

〒828-0028

豊前市青豊19-14スペースI

TEL：0979-53-9106

FAX：0979-53-9107

開所時間：平日9時～18時

相続専門ホームページ

